

発行所  
三隅町広報委員会  
発行者 森沢雄治  
編集人 齊藤元宣

人口のうごき	8月1日現在
世帯数	1,751戸
人口	男 3,672人 女 4,093
計	7,765



三隅下浅田で安政四年(一八五七)三月四日に生れた、わが国現代捕鯨事業の創始者である。明治三十二年余古出身岡十郎と日本遠洋漁業KKを創立し、機械船(日本で始めての捕鯨船長周丸)をもつてノールウエー式捕鯨を導入した。

明治三十七年東洋漁業株式会社を設立、前会社を発展的に解消した。明治四十三年大阪に伊佐余商會を創立し、鯨産物販売機関とし、一般に歡迎されなかつた鯨肉の食用化の宣伝普及に努力した。本人は大正四年一月、急病で死去されたが、同社は次第に繁昌し大正十二年当時全国に二十余

社会福祉協議会とは、種団体と連絡をとり、その筋に願ひ出て処理してもらい、或るときは住民の協力を得て会自体の実践活動により解決するなど、常に住民福祉の向上を進めてゆくのが社会福祉協議会であります。

### みんなの幸せのために 福祉活動を高めよう 町社会福祉協議会

- 本年度の事業計画
- 一、本年度の活動目標を次のように計画しております。
  - 一、諸官公庁、団体、施設との連絡及調整。
  - 一、しあわせを高める運動の推進
  - 一、世帯更生資金、法外援護資金の運営及活用
  - 一、歳末たすけあい運動
  - 一、不遇児、困窮児の援護
  - 一、育成会、子供の活動援助。
  - 一、老人家庭奉仕員制度の事業運営
  - 一、老人福祉諸問題の推進
  - 一、身体障害者福祉の推進
  - 一、共同募金、日赤募金運動への協力
  - 一、心配ごと相談所の運営
  - 一、福祉諸問題の調査及啓発
  - 一、町行政の指導援助
  - 一、町民各位の協力をまたねば

上対抗するため、新式捕鯨船を導入、岡十郎(阿武郡奈古出身、後に日本最大の捕鯨業日本水産会社を創立)氏と創業されたのである。(山田氏が資金を岡氏が技術を提供)

今年には特に、福祉の諸問題を、より一層住民に密着するものにした念願から、大いに話したいの場を持つ計画であります。そのために、会員制の実施に踏み切りたいと考えております。近く会員募集に取りかかる段階になっておりますから、各戸単位に、

品と各面に亘つての普及を図つた。

これらは早見であった。

創業以来の漁獲は

明治三二年	一五頭
三三年	四二頭
三四年	六〇頭
三五年	八九頭
三六年	一〇一頭

という成績であった。

然し運搬船の座礁、下関鯨倉庫の火災消失、捕鯨船長周丸の沈没等により、事業は挫折し、新会社を設立しなければならなくなつた。

下関市日和山公園に翁の顕彰碑があり、墓は下関市西谷寺にある。

「君達、若人の心に小さく燃えている灯を、今日はおもいきり爆発させてほしい」キヤンドルサービスのとき、野津大会本部長が、言われたことば、大会の間、僕は、初めて経験するものへの驚きと感激で、じつとしていられないやうな気分だつた。「俺達は何かを、やらなくてはいかん」とでもいうか、自分の体の中に、ぐつとせらるやうな大きな力を感じさせられた。

大会のスケールの大きさを改めて認識させられた開会式。全国千五〇〇人の仲間が、真剣にやるべきところを知つていた。たつた一日だつたが

「君達、若人の心に小さく燃えている灯を、今日はおもいきり爆発させてほしい」キヤンドルサービスのとき、野津大会本部長が、言われたことば、大会の間、僕は、初めて経験するものへの驚きと感激で、じつとしていられないやうな気分だつた。「俺達は何かを、やらなくてはいかん」とでもいうか、自分の体の中に、ぐつとせらるやうな大きな力を感じさせられた。

大会のスケールの大きさを改めて認識させられた開会式。全国千五〇〇人の仲間が、真剣にやるべきところを知つていた。たつた一日だつたが

「君達、若人の心に小さく燃えている灯を、今日はおもいきり爆発させてほしい」キヤンドルサービスのとき、野津大会本部長が、言われたことば、大会の間、僕は、初めて経験するものへの驚きと感激で、じつとしていられないやうな気分だつた。「俺達は何かを、やらなくてはいかん」とでもいうか、自分の体の中に、ぐつとせらるやうな大きな力を感じさせられた。

大会のスケールの大きさを改めて認識させられた開会式。全国千五〇〇人の仲間が、真剣にやるべきところを知つていた。たつた一日だつたが

「君達、若人の心に小さく燃えている灯を、今日はおもいきり爆発させてほしい」キヤンドルサービスのとき、野津大会本部長が、言われたことば、大会の間、僕は、初めて経験するものへの驚きと感激で、じつとしていられないやうな気分だつた。「俺達は何かを、やらなくてはいかん」とでもいうか、自分の体の中に、ぐつとせらるやうな大きな力を感じさせられた。

大会のスケールの大きさを改めて認識させられた開会式。全国千五〇〇人の仲間が、真剣にやるべきところを知つていた。たつた一日だつたが

町民の日常生活の中で、身近な不幸な問題々々苦しい問題々々希望する問題々々見逃している問題々々などを拾いあげ、それを調査研究し、その対策を立て、或るときは各所の支店出張所を設置して事業は一時盛衰を極めてゐる。莫大な私財を投じて実施された捕鯨事業は、二つの大きな国家的貢献をされた。

一、当時ロシアは太平洋捕鯨会社をつくり日本海の鯨を乱獲し、わが国の捕鯨業の死命を制せりとした、更に捕鯨に名をかりて日本海一帯の海面測量に乗り出してきた、そこで当時の先賢品川弥二郎、伊藤博文等からすすめられ、国防上産業



夏の楽しいキャンプ 一老人福祉センター広場にて

### 9月8日は 知事選挙

第7回山口県知事選挙が9月8日に行なわれます。この選挙で選ばれた私達の代表者が、これからの四年間、私達に代つて山口県の政治、行政を担当することになります。つまり「この選挙は『私達の地域の問題は、私達の意思と責任で』という地方自治、ひいては民主政治の出発点である」ともいえます。

このような重大なる意義をよく考え、私達有権者は、郷土のあすの発展への願ひを結集し、こぞつてこの選挙に参加し、主権者としての自覚と責任と誇りをもつて力強い一票を投じようではありませんか。

選挙の主役は「あなた」です。

### 軽免許がなくなります

道路交通法の一部改正によつて、ことしの九月一日からは、軽免許が廃止されて普通免許に吸収されることになりました。

したがつて、九月以降の軽免許試験はなくなりません。また八月三十一日までに軽免許の試験に合格した者の免許資格は、軽自動車に限定されていきますから、たとえ普通免許に吸収されても普通自動車は運転できません。

この限定を解除してもらうためには、県公安委員会の行楽しつたテント生活、すぐ、仲良くなれた七人の仲間と、明日からの活動に、期待を寄せながら寝た。多少手間はかかるとは、

### ○志をたてる

将来何になろうと思つてゐるか、などと中学生と語りながら思ふことがある。父母との対話の中で、すでに自分の将来の方向をはつきりしてゐる子どもと雲をつかむように偶然に頼つてゐる子どもとでは、子ども自身の輝きや勉強のとりくみが明らかにちがうことである。孔子は十五にして学に志した。志学とは、目標にむかう意志を決定して、その実現のために高い学問に打ちこんでいくことである。志とはこころを指し、心がかどを指しているからである。温床の中でヌクヌクとモヤシのように育てられるのではなく、家庭の中にもきびしい社会と生活を反映しながら父母との対話の中で早くから子どもが心指す方向についての意志と感情を育てたいものである。

### ○ことばを豊かに

新鮮な話題をもちこんで和やかにだんらんのある家庭の子どもはことばが豊かである。子どもを見せれば、よく勉強せよとストリートにこたばをぶつつけることしか知らないようでは全く淋しい。親にたいしての勉強とは、真剣に仕事にたいする態度を真剣にふれさせることであり、人間を大切にすることを感ぜさせる事であり、ものねうちと判断の力を養つてやることである。しかも、それは、親と子のこたばのかわし合いの中にあられることである。こたばを大切にしたい。ことばの表わしかたを工夫したい生活のほりや生きがいが、総じて、生活のよさよさは、ことばによつてもたらされるものだから。子どもに、いつ、ど

### 全国大会感想記

名和田茂生

「君達、若人の心に小さく燃えている灯を、今日はおもいきり爆発させてほしい」キヤンドルサービスのとき、野津大会本部長が、言われたことば、大会の間、僕は、初めて経験するものへの驚きと感激で、じつとしていられないやうな気分だつた。「俺達は何かを、やらなくてはいかん」とでもいうか、自分の体の中に、ぐつとせらるやうな大きな力を感じさせられた。

大会のスケールの大きさを改めて認識させられた開会式。全国千五〇〇人の仲間が、真剣にやるべきところを知つていた。たつた一日だつたが

翌日、会場をオリピック記念代々木青少年センターへ移すと発表された。代々木での生活は快適そのものだった

目という。稲の葉ぶりを見て作がらを知り、姿形から子牛のねうちがわかり、毛状から山の値ぶみが出るように、総じてものをみる目は生活とたたかい、生活を高めるために、欠くことの出来ない人間の知恵である。社会を見る目、自然に学ぶ目、人とのつき合いの目等々、ものを見る目は、幼時より家庭の中で方向づけられ育てられるものだ。清風先生の四峰の論では、おが、だから家庭といふところは、小さくちぢこまらず、社会や自然や政治や経済や、文化などの風通しをよくすることが必要なのではないか。三隅の魂のたとへはここでも大変な重みをもつてくる。

### ○目を養う

大人の目は、きびしい仕事と生活との対決の中で鍛えられた価値判断の力の光りをもつてゐるものだ。ものを見る目という。稲の葉ぶりを見て作がらを知り、姿形から子牛のねうちがわかり、毛状から山の値ぶみが出るように、総じてものをみる目は生活とたたかい、生活を高めるために、欠くことの出来ない人間の知恵である。社会を見る目、自然に学ぶ目、人とのつき合いの目等々、ものを見る目は、幼時より家庭の中で方向づけられ育てられるものだ。清風先生の四峰の論では、おが、だから家庭といふところは、小さくちぢこまらず、社会や自然や政治や経済や、文化などの風通しをよくすることが必要なのではないか。三隅の魂のたとへはここでも大変な重みをもつてくる。

### ○三隅(さんぐう)

負け試合となると、とたんにガツクリいくのが三隅の子どもの特徴である。なせばなる、なにくその気合いがかからず、根性がない。三隅(さんぐう)とは孔子のことばにあり、人一人たびすれば我これを三たびする、というように三倍の努力をそそいで物事をりつぱにやりぬけ、しかも自主自発の構えが大切だ、との教えである。三隅人たるものは、この三隅の精神に立ちかえれば物事の成らざるはない、とわたしはよく生徒に説く。清風先生は、かの尊聖堂に孔子を祀りての教えを強調されたのではないだろうか。家庭のモットも学習への努力も、三隅(さんぐう)の精神で努力を倍加して立ち向かいたいものである。

(中学校長 平川喜敬)



(常陸宮もご参加)



共同募金に協力しましょう

以下の水温にさらされると被害が大きい...

山間部の湧水は20度以下であるから...

又水田に常時水を貯めると根が弱り...

そこで常時排水しないで、時々排水して...

親の立場から反省したいことはいろいろだが...

親の愛は、わが子それぞれの長所を一つでも多く見出して見守り育てること...

出穂前後の稲作管理

春先から大切に育てた稲も穂を出して、最後の仕上げ...

1 実肥 一般に出穂前後から後に施す肥料を...

3 病害虫防除 今年のは天候不順でいろいろな病害虫が異常発生...

2 水管理 これからの水のかげひきは冷水をあてないこと...

植付当初からこの点を考えて合理的な管理をして...

その場合、一度に施す量は尿素で四キロ...

少く回数を増す方法が安全と思えます。

悲喜交々 出生(六月分 三日より) 氏名 保護者...

死亡(六月分) 氏名 部落 年齢 合計...

子どもと親と第二学期 十人十色 夏休み 五年後の小中学校...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

行事メモ 調査 滝坂神楽踊り代表として...

小の知らせ 玉江十一殿 竹下甚一殿...

小の知らせ 中本 正殿 杉本三吉殿...

小の知らせ 田原 秀雄殿 斎藤亀蔵殿...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

社会体育記録と予定記録 中学生高校生球技大会...

自衛官募集

詳細は町務課へ

町民盆踊り大会

町民盆踊り大会</